

公民科倫理授業細目 2016

1 「倫理」とはどのような授業か —— 授業担当者より

現代の言葉の使い方として「倫理」と「道徳」は、ほぼ同じ意味をあらわしている。しかし、高等学校公民科倫理という科目は、お行儀が良く何も疑うことなく一般的に「善」とされることを行い、さらには、自分が正しいと思う判断を他者にも「正しい」が故にそれを強要するような生徒を育てるための科目ではない、と私は考えている。そうではなくてむしろ、「お行儀の良さ」とは何であるのか？ 何をもって「善」とするのか？ 「正しい」という判断はどのような種類の判断なのか？ ということについて自分の頭で考えて、自分の行動の指針の参考にすることができるような生徒を育てる科目である、と考えている。

たとえば、中学までの道徳の授業で使われている『心のノート』については、「現状適応が善という徳目が暗示され、従順な子どもづくりが意図され」ているとか(注1)、「国家や社会への批判を慎み『大いなるもの』への服従が期待されている」といった批判がなされている(注2)。これらの批判が的を射ているかどうかは別として、価値判断の押しつけは本来、倫理の授業の中で行われるべきではない、と私は考える。なぜならば高校生のレベルでの価値判断は、個人の思想・良心の自由(日本国憲法第19条)にもとづいて、個人の責任の元に下されるべきものだと考えるからだ。

ここで、価値判断とは何か、ということについて考えてみよう。判断には、「事実判断」と「価値判断」の区別がある。それは、「事実」と「意見」の区別に対応する。「今日の茂原の天気は雨だ」という判断は、北海道出身者であろうと沖縄出身者であろうと、真か偽か的事实を確かめることができる判断である。一方、「今日の茂原は涼しくてよい」という判断はそれを感じる人によって真偽が明らかに変わる、価値に関わる判断である。同じように、ペーパーテストに出題される問題は、○か×かを確かめることができる事実判断だが、小論文などで要求される意見は、○か×かを確定できない価値判断であるといえる。たとえば「快樂の量を数値化することは正しい」という価値判断を含んだ言明については、本当に数値化できるかどうか、それが正しいかどうかなどの点で、事実か否かを判断することは困難である。しかし、「功利主義者ベンサムは快樂の量は計算可能だと述べた」という言明は、彼の著作を調べれば、真実の事実かどうかを簡単に明らかにすることができる。

ここで、事実判断と価値判断の違いを整理してみよう。

事実判断： その判断が真か偽かを経験的に検証することができる判断

例1)「おくりびと」はアカデミー賞を受賞した。 例2)プラトンは民主政治を否定した。

価値判断： 誰かが何かについて積極的あるいは消極的評価を与える評価判断

例3) この映画はよい。 例4) 無知な民衆が支配する民主政治は国家に正義をもたらすことができない。

※ 価値の判断は快樂(快・苦)、利益(利・害)、正義(正・邪)などを基準にして、伝統・慣習、内部の信念、他者の評判や流行をよりどころにして行われる。また、義務(～すべきである)や命令(～せよ)という判断は規範的判断と言われ、これも真偽を一面的・一義的に検証することはできない。

注意しなければならないのは、倫理の教科書の中にも事実判断と価値判断が混在しているということだ。さらには、残念ながら教科書の記述の中にも、高校生向けに簡略化されているがゆえに事実誤認的になってしまっている部分もある。「真理」とは何かというテーマについてはミシェル・フーコーの思想を扱う際に触れるが、教科書に書かれていることは所詮「教科書的な真理」にすぎない。それは、広いジャンルの読書が続けていれば容易に分かってくることだ。生徒の皆さんは、教科書の意見や私の意見やたくさんの思想家や宗教家の意見を噛み砕き、咀嚼しながら、のんびりと焦ることなく自分自身の人間観や世界観そして価値判断のための枠組みを選び取っていただけたら、と思う。そして、たとえ「大いなるもの」だろうが「国家・社会」だろうが、臆することなく論じることができるために、教養という工具箱のツールを増やして健全な批判精神を磨いて欲しい。

注1,注2: 小沢牧子(2005)『心の教育』が意図するもの『現代思想』4月号,青土社,p.173

2 公民科「倫理」の目標

2.1 文部科学省により学習指導要領に定められた目標

【目標】

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、**他者と共に生きる主体としての自己の確立**を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる（2009・平成21年版太字は旧版への追加箇所）。

人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、**生きる主体としての自己の確立**を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。（1999・平成11年版太字は旧版への追加箇所）

2.2 この授業での目標

1. 高校卒業、あるいは大学受験に必要な程度の「倫理」的知識と教養を習得する。
2. 自分自身の世界観と思想の形成のもととする。つまり自らの行動原理の選択肢や思索の素材となりうるような概念の枠組みを利用し活用できるようになるため、実践的に学習内容を理解する。

3 使用教材等

3.1 教科書・資料集

【教科書】『倫理』東京書籍

【資料集】『テオリア 最新倫理資料集 三訂版』第一学習社

3.2 推薦図書

【超推薦図書】

『倫理用語集』山川出版社：センターの問題はこの範囲から出題されます。座右の書として常に読んでください。

『センター試験への道 倫理 一問題と解説』山川出版社：センター過去問を单元ごと掲載、授業・補習の後に！

（以上4冊をしっかりやればセンターで80点以上とれます。倫理受験者は**かならず買って勉強してください！**）

【その他推薦図書】

『改訂版センター試験 倫理の点数がおもしろいほど取れる本』村中和之著、中経出版：センター必出ポイントを非常に分かりやすく読みやすく解説していて予習復習に適している

『センター試験のツボ 倫理』中川雅博著、桐原書店：9割の得点を目指す場合、有効なテキスト

「片岡の倫理授業プリント」：(旧版のすべてのプリントを下のウェブサイトからPDF形式のファイルでダウンロードできます)

「片岡の定期考査過去問及び解答解説」：同じく下のウェブサイトからダウンロードできます。

4 授業担当者

教科担当：片岡 勝規

URL：<http://homepage2.nifty.com/k-katsunori/> 【片岡勝規の公民科倫理教科研究室】

E-mail：ktok-katsunori@nifty.com（質問等、メールにはあなたの氏名を明示してください）

倫理、倫理研究、朝と夏季休業中の補習も含めた講座の全構成

内 容	講 座
思想の源流 日本の思想・西洋近現代思想（近代まで）	倫理授業（2単位）
青年期の課題と自己形成・現代社会の特質と人間 イスラームの思想	倫理研究授業（2単位） 課外「倫理研究」木曜7：30～8：10（5月～10月）
これしかない！「西洋近現代思想」特講	倫理夏季ゼミ（夏季・冬季休業中） 15時間実施予定（180分×5コマ）
迷わず「日本思想」特講	倫理夏季ゼミ（夏季・冬季休業中） 7.5時間実施予定（90分×5コマ）
センター倫理過去問演習	木曜7：30～8：10（10月～1月）

5 学習計画（予定）

「倫理」（2単位）学習内容	時期	「倫理研究」（2単位）学習内容	時期
0 ガイダンス公民科「倫理」とは何か 2 思想の源流（17項目） 21 古代ギリシアの思想 211 神話から哲学へ 212 ソフィストとソクラテス 213 プラトン 214 アリストテレス 215 ヘレニズム時代の思想 22 キリスト教の思想と信仰 221 ユダヤ教・旧約聖書の思想 222 イエスの教え 223 原始キリスト教 224 キリスト教の展開 23 仏教の思想と信仰 231 仏教以前の思想 232 仏陀の教え 233 仏教の展開 24 古代中国の思想 241 古代中国思想と諸子百家 242 儒家思想とその発展 243 朱子学と陽明学 244 道家（老荘）思想	前期	1 青年期の課題と自己形成 101 人間とは何か？ 文化とは何か？ 102 欲求と適応 103 パーソナリティの形成 104 青年期の心理と課題 5 現代社会の特質と人間 501 現代社会の家族と女性の社会進出 502 高齢社会 503 情報社会 504 都市化・組織化と大衆化社会 505 国際化社会 506 環境倫理 507 生命倫理	前期
4 西洋近現代思想（17項目） 41 近代思想の誕生 410 中世末期西ヨーロッパの時代と思想 411 ルネサンス 412 宗教改革 413 近代自然科学思想 414 イギリス経験論 415 大陸合理論 416 モラリスト 42 近代思想の展開 421 社会契約説 422 啓蒙思想 423 カントとドイツ観念論 424 功利主義 utilitarianism 43 現代の思想 431 実証主義・進化論 432 社会主義 433 プラグマティズム 434 実存主義（実存哲学） 435 現代のヒューマニズム 436 20世紀後半の思想	後期	25 イスラームの思想 3 日本の思想（13項目） 301 古代日本の思想と文化 302 仏教伝来、奈良・平安仏教 303 鎌倉仏教 法然 親鸞 一遍 304 鎌倉仏教 栄西・道元と日蓮 305 日本儒学 朱子学派 林羅山 306 日本儒学 中江藤樹 伊藤仁斎 307 国学 本居宣長 308 農民・町人の思想 309 洋学・啓蒙思想 310 自由民権運動・国家主義 311 日本のキリスト教・社会主義・大正デモクラシー 312 近代的自我と文学 313 西田幾多郎と和辻哲郎	後期

倫理プリント

6 先輩たちからのメッセージ

「2016年長生高校センター倫理受験者のアンケート」より

「昨年(2015)の3年の先輩たちから後輩の皆さんへのアドバイス&メッセージです

【倫理受験者の声】

- 参考書、資料集、授業プリント+実際の問題で、インプット&アウトプットの繰り返しが本当に大切です。①参考書などを使ってまず全体の流れをざっと知る。→②読み返してつかむ、理解する。→③覚える。→④アウトプット。→⑤インプット→⑥アウトプット…∞ 背景や内容の理解をしっかりとしないと、覚えにくいと思いました。①は夏休みくらいまでに②は秋に③から先はそれからセンターまで続けるのが良かったのかな。最後まで諦めないでください！先生の予想問題あなどれませんよ(笑)
- 自分は正直センター倫理をなめくさっていたと思います。夏前の模試でセンター倫理を満点近くとり天狗になっていました。(夏前だから範囲が実際のセンターよりせまく感じたのと、自分でそれなりに予習をしていたため、このようなことが起きた)夏休みに入ってもほとんど倫理に手をつけず「倫理は1カ月で9割余裕！」というネットの言葉を何の根拠もないのに信じていました。そして何よりも「自分はできる」と実際にセンターの過去問さえ解いていないのに(模試は解いていた)勝手に思い込んでいた浅はかさ故に私はその状態で11月の終わりまで来てしまいました。「1ヶ月で9割」というのは私みたいに他の教科のセンターも危険な男ではいえないと感じました。(ただ単に私の能力が低いのかもかもしれませんが)私がこの駄文を通して言いたいことは、理系国立志望で社会を少しでも得点源にしたいという人は、夏前、ないしは夏から社会を着実にやっていくべきということです。特に倫理はきちんと片岡先生の朝課外に出て、授業を聞いてとやっていたら少しずつ地盤ができてくるので、高3になってまだ社会科目を決めていない人は、倫理を片岡先生と確実にやり、得点源にできるよう頑張ったらいいと思います。
- 過去の体験に関連づけてみると良いかも。
- 最近いきなり倫理は難しくなって、点の取りやすい科目ではなくなったけど、暗記の量と考える問題が良いバランスであるので、しっかり勉強すれば良い点数も見込めると思う。

【倫理・政治経済 受験者の声】

- 倫理はやればすぐ成績に反映される教科です。夏休みに日本思想と西洋思想の課外を受けて、8月9月でインプット10月から過去問でアウトプットしつつ、足りないところをインプットするという風にすれば、90点台にも行くようになります。絶対課外に出るべきです！
- やったらやった分だけできるようになる！片岡先生を信じて毎日30分はやることをオススメします。
- 最後まで諦めず覚え続けましょう。
- 片岡先生の授業はとてもいいので必ず出席してください。プリントは夜寝る前などきちんと決めて、毎日欠かさずやること。暗記したことは必ず忘れます。課外での過去問は必ず解いてください。解けば解くほど点が上がり、自信につながります。
- プリントとテオリアを駆使すれば大丈夫です。わたしはもっと知識を入れておけば良かったな、と思ったので、とことん覚えましょう。あと、朝でも何でも課外は頑張っていこう。眠いし面倒だし指名されるのこわいけど、先生からその分大きなものを得られますよ。
- 理解することがまず先だと言うことを念頭に置きながら、覚えることが大切です。理解と暗記はいずれも得点するためには必須ですが、自分としては「理解→暗記」のベクトルが大切だと思います。「理解したものは忘れない」と化学の先生も言っておりますから、是非、理解して覚えてほしいですね。そうすればいきなり傾向変わっても大丈夫!!! (w)
- 倫政は大変ですが、やりきったあとの達成感はあると思います。政治経済は置いておいて、倫理に関して言うならば、倫理で習った人物は、現代文や他の社会科目にも出てくることがあるので、「あ、この人倫理で出てきた！」となって少し取っつきやすくなります。実際、私は模試の国語の評論でルースベネディクトの『菊と刀』が出てきて、「わー！ルースベネディクトだ！」とテンションが上がったおかげで、そこそこ良い点が取れました。こういうのが、倫理や倫政受験者の強みだと思います。いつかきっと、倫理を勉強して良かったと思うことがあると思います。片岡先生を信じてしっかり授業を受けていれば大丈夫！頑張ってください。
- 社会はセンター試験の一番はじめで、倫理の要約などの文章が全然頭に入ってこなかったの、自分の得意なところから解いて成功体験を積んで、緊張せず自信を持つことが大事だと思いました。
- 模試やVパックでいくら良い点数をとっても油断してはいけないと思います。当日は落ち着いて、分からない問題は飛ばしてやるといいと思います。倫政選択は勉強が大変だけど、今回の試験のように、倫理で採れなくても政経でカバーできるので、その点では救われました。
- りんりは、キーワードで反射的に答えられるようになるのも大切ですが、その人物がその考えに至ったきっかけだったり、その時代の風潮だったり理解できると、より楽しくなります。私は本番大失敗をしてしまったのですが、倫理を1年間学べて良かったです。むしろこれからも学び続けたいです!! パスカルの、倫理は受験の「気晴らし」にしていかが聞いてみたいですね。
- キーワードだけ覚えても倫理で点は採れないと思った。
- 知識と繰り返しアップデートしていくことが大切。電車内などでプリントを英単語帳のように見えておくと良いと思うs
- 倫理は毎日コツコツと進めていかないと間に合いませんが、準備をしっかりとっておけば大丈夫です。倫理を入試で使わない人も、思想の源流の分野は日本史世界史地理ともかかわっているので、しっかりテスト勉強をした方がいいです。